



# セトウツミ

S E T O U T S U M I

映画で学ぶ 「会話のキャッチボール」

対象：12歳以上（小学校高学年～中学生）

名前

年 組

## 1 会話のキャッチボールって？

ボールを投げるのが「話す」、受けるのが「聴く」。よい会話は、**来たボールをちゃんと受けてから返す**ことです。一方通行では、キャッチボールになりません。

**受けて → 返して → また受ける**

### 会話が止まる「3つの投げ方」

- ① **暴投**＝自分の話ばかりで相手が受けられない ② **受けない**＝相手の話をスルーして別の話をかぶせる ③ **たたき返す**＝すぐ「それは違う」と否定する。  
セトとウツミの会話には、この3つがあまりありません。だから続きます。

## 2 キャッチボールの4つのコツ

### ① まず受ける

「うん」「なるほど」で受け止めてから返す。

### ② 質問で返す

「それで？」「どう思った？」で相手にボールを返す。

### ③ 受け取りやすく投げる

一方的に長く話しすぎない。短く、わかりやすく。

### ④ 「間」を怖がらない

ちゃんもく  
沈黙も会話の一部。あわてて埋めなくていい。

### 3 映画『セトウツミ』とは

#### 📖 あらすじ

大阪の高校2年生、瀬戸（せと）と内海（うつみ）。タイプの違う2人が、放課後の川辺に座って、ただおしゃべりをして時間をつぶします。派手な事件はなく、関西弁のテンポのよい会話がそのまま映画になっています。だからこそ「会話そのもの」を観察するのにぴったりです。

#### A（投げる）

なあ、今日おもしろいことあってん。

#### B（受けて返す）

ん、なにになに？ ……で、それでどうなったん？

#### A（また受ける）

それがな——（と、話がはずむ）

※上は会話の流れを示すイメージ例（映画の実際のセリフではありません）。

### 4 会話観察ワーク

💬 会話がうまく続いている場面を1つ選んで、書き出そう

#### ① 選んだ場面

.....

.....

#### ② どちらが「投げて」、どちらが「受けた」？

.....

#### ③ 会話が続いたのは、なぜだと思う？

.....

#### ④ 4つのコツのどれが使われていた？

☐ まず受ける   ☐ 質問で返す   ☐ 短く投げる   ☐ 間を待つ

#### ⑤ 会話が「止まった」場面はあった？ それはなぜ？

.....

### 5 ペアで「会話を続ける」練習

2人組で、テーマを1つ決めて1分間、会話を止めずに続けます。聞く側は「まず受ける→質問で返す」を意識。こうたい交代したら下をうめましょう。

続けるために役立ったコツは？

.....

むずかしかったことは？

.....

相手のどんな「返し」がうれしかった？

.....

## 6 ふりかえり

会話は「勝ち負け」ではなく、\_\_\_\_\_ことだと分かりました。これから、\_\_\_\_\_のときに、\_\_\_\_\_を試してみたいです。

 「受けて、返して、また受ける。」

**先生・保護者へ：**『セトウツミ』は日本で映倫G（全年齢）ですが、高校生同士の会話が中心で、軽い下ネタや皮肉まじりの言い合いも出てきます。本資料は12歳以上を想定しています。全編視聴のほか、会話場面を選んでの活用もおすすめです。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIが作成し、内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。会話は流れを説明する創作例です。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。